

Erwärmung

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/38486

ニヨツテ變動ガ起ルベキデスガ小兒ハ大人ニ比較スルト体重ニ比シテ体表ガ大ナルガ故ニ如上ノ變狀ハ小兒ノ方ガ著シカラウト思ハレル

此熱浴ハ他ノ方面カラ治療上ニ用キラレ即チ胸部ノ上述ノ疾病ノ處置ニ應用スル故ニ同時ニ診斷上ニモ用キ得ラレマスノデ更ニ面倒ハ御坐イマセヌ

猶此聽診ニハ他ニ種々ノ所見ヤ價值ガアルニ非ズヤト考ヘマス一層研究ヲ重キマシタラ此ガ應用ノ範圍カ廣クナルデアラウト思ヒマス

○Erwärmung

(明治四十一年五月廿二日本會講話部第八回大會所演大要)

特別會員 岡本京太郎 講演

雜誌部委員 よし生 筆記

茲ニ Erwärmungト申シマスノハ自分ガ一ノ疾病トシテ認メテ居ルモノデアリマス、既ニ實地上ニハ Erkältungト云フ一ノ疾病ノ存在ガ必要デ、之レニ由テ一定所屬ノ症候ガ説明サレマスガ、コノ Erwärmungハ丁度 Erkältungノ正反對ニ當ル譯ニナル、而シテ之レハ別ニ新タナ疾病デハゴザリマセヌガ、從來ノ書籍ニアルダケノ疾病デハ説明ガ出來兼テ所カラ此病氣ヲ組立テ、如斯名ツケタ次第デアリマス

サテ本病ノ本態ハ身体ヲ温包スルノニヨツテ成リ立ツノデ、小兒殊ニ哺乳兒ニ來ル即チ自己ノ意思ヲ適當ニ言ヒ表スコト出來ナイモノ又獨立ニ身体ノ行動ヲトルコトノ出來ヌモノニ此病氣ガ發來シマス

症狀ハ健康ノ父母カラ生レ、二三ヶ月ハ健ニ生立ツタ兒ガ兩親周圍ノ者カラ居常過大ナ注意ト愛重ヲ享ケテ居ルニ拘ハラズ身体ニ變狀ガ起ツテ來ル即チ發汗スル、從ツテ渴ヲ起シ、タメニ乳ヲ欲シガルコト、飲ムコトガ自然ニ多クナルシ又尿利尿量ハ却テ減ズルノデアル、カクテ漸次ニ顔貌ハ蒼白トナリ、皮下ノ脂肪組織ハ減ズル、筋肉ハ羸度ヲ呈シ、運動(体動)ハ不活潑トナル、体重ノ増加ハ甚ダ遅徐トナリ又ハ却テ減ジテ行クト云フ有様トナル加之寒胃ニ罹リ易ヒ、慢性ノ鼻加多兒氣管支加多兒ヲ合併シ、又乳汁ヲ多量ニ飲ムノニヨツテ消化器ノ變狀モ伴ツテ來テ慢性胃腸加多兒消化不良ヲ起スシ、屢々結膜加多兒ヲ合併スルコトモアル、而シテ傳染病ニ對スル身体ノ抗抵ハ減退シマス

斯様ナ症狀ハ哺乳兒ノ結核症ニ似タ所ガアリマスガ、然シ其經過ヲ觀察スルニ相違シテラル、又ツベルクソンノ反應ヲ試ミルニ陰性デアル

本病ニ罹ル年齢ハ勿論哺乳兒デ、私ノ從來經驗致シマシタ例ハスベテ二歳以下デアリマシタ、而シテ小供ヲ愛重スル親殊ニ富有ノ家族ノ兒ニ多イ、又其兄弟ニ見ルコトガ屢々アル、斯ク哺乳兒ノ時此病ニ罹ツテモ成育スルニ從ツテ則チ獨立働作ヲ營ム時期ニ至レハ次第ニ健康トナツテ來マス

此病氣ノ起ル理由ヲ説明シテ見マスニ無暗ニ兒ヲ温包スル、其結果温ノ放散ヲ妨ゲ新陳代謝ニ變狀ヲ來シテ發汗ガ夥クナツテ來、渴ノ劇イノデ乳ヲ多量ニ飲ム、從ツテ發汗ハ増ス、ソレニ拘ハラズ尿利ハ減ジル又一方ニハ厚キ被服デ包マレテラル爲メニ体動ノ障礙ヲ起ス、口渴ノタメ乳汁ヲ過量ニ攝取シテ消化器障礙、全身營養障礙ガ起ツ

テ來ルヤウニナル、ソシテ寒胃ニハ屢々カ、ル、ソレ故親ハ益々温包スル、從ツテ次第ニ病勢ガ募ル様ニナリ著シイ
 營養障害ヲ惹起ス、斯様ニ *Erwärmung* ニヨツテ種々ノ病變ノ起ルコトガ逐一説明シ得ルト考ヘル

而シテ普通デ言ヘバ虛弱ノ體質ト云フカモ知レヌガ之レハ已ニ健康デアツタ既往ガアル、マタ度々寒胃ニ罹ルコト
 ガアルノニヨツテ之レヲ寒胃トセンカ經過カラ觀レバ本病ノ方ガ長イ、即チ慢性病デ寒胃トハ別物デアアル、又諸部粘
 膜ニ慢性ノ加多兒ノアル所カラ之レチ此等ノ加多兒ト説明シテモヨロシイ様デハアルガ之レデハ總体ニ亘ツテ説明
 ガツキカチルシ且ツ現存スル病氣ヲ各個別々ニスルノハ診斷、治療ノ上ニハ至當デナイ事柄デアアル、然ルニ之レノ原
 因上カラ *Erwärmung* トシタ方ガ此病ノ全体ヲ綜ベ括ルコトガ出來ヤウト考ヘ、斯ク別ニ一疾病ヲ組立テタイト思フ
 ノデアリマス

○異常頭蓋ノ一例ニ就テ (附、一圖版二圖)

金澤醫學專門學校解剖學教室ニテ

特別會員 中野鑄太郎

(澤金)

本誌第四十九號ニ報告シ先進諸氏ノ垂教ヲ仰ギシ異常頭蓋ノ一例ニ就キ其後在京都醫科大學足立博士ヨリ *Zeitschrift für Morphologie und Anthropologie* Bd. X Heft 3. (1907) ニ登載セラレタル自著 *Processus parietalis squamæ temporalis* ノ別刷一部ヲ寄セ余ノ實見シタル如キ異常縫合ニ就キ既ニ *Schwalbe* 氏ガ前記雜誌 (1903) ニ報告シタ